

1. 件名：「トランスニュークリア（株）特定兼用キャスクの型式証明申請に関するヒアリング【11】」

2. 日時：令和5年12月19日 13時30分～15時30分

3. 場所：原子力規制庁 8階D会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

岩澤安全規制調整官、寺野管理官補佐、松野上席安全審査官、櫻井安全審査官

（核燃料施設審査部門）

甫出安全審査官

（システム安全研究部門）

後神主任技術研究調査官

トランスニュークリア株式会社：シニアバイスプレジデント 他2名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

資料1-1 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 コメント管理表及びコメント回答

資料1-2 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 設置許可基準規則への適合性について（第十六条関連）

資料1-3 補足説明資料 16-2 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 臨界防止機能に関する説明資料

資料1-4 補足説明資料 16-3 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 遮蔽機能に関する説明資料

資料1-5 補足説明資料 16-4 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 除熱機能に関する説明資料

資料1-6 補足説明資料 16-6 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 材料・構造健全性（長期健全性）に関する説明資料

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:05	規制庁のマツノです。ただいまより、トランスニュークリア、館正明へヒアリングをしたい。
0:00:14	本日は、紹介後のコメント回答。
0:00:17	ヒアリングコメント回答ということで、資料を用意していただきましたので、
0:00:23	資料に沿って説明。
0:00:26	はい。説明の資料トラスミウラシモジョウです。
0:00:30	詰めは資料 1-1 をメインに行います。
0:00:35	まず審査会合のコメントについての、
0:00:40	回答です。7 番と 8 番。
0:00:44	なります。
0:00:46	一つ目が被覆管の、
0:00:48	周方向 5 人。
0:00:50	についてです。ページで言いますと 12 ページからになります。はい。資料 1-1 の 12 ページからです。
0:00:59	前回、
0:01:00	ですね、発熱量に制限するということでご説明させていただきまして、その時の
0:01:10	コメントといたしまして、シュクショク
0:01:15	腐食減肉を考慮した場合のグループの評価についても、参考として検討することということで、コメントをいただいております。
0:01:30	52 ページが 13、14、15。
0:01:35	まではですね、前回ご説明した内容と同じになります。
0:01:41	今回追加しましたのが 10、16 ページ。
0:01:45	からになります。
0:01:47	現実的な応力の評価ということで、交渉力に加えて、現実的な条件として封緘の腐食原理を考慮した場合の評価手法抗力についても、を参考に評価をしましたと。
0:02:02	ございます。この評価で用いる週間内圧につきましては、主燃料集合体の発電所のPTファクターの特性を生かした条件で、
0:02:12	評価をしてございます。
0:02:15	で、皮膚科の減肉量の設定ですけれども、これ参考文献 1、
0:02:22	参考に引いちゃう資料の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:25	この者 16 ページの下に書いてありますけれども、JNESの報告書です ね、100MPa以下、
0:02:31	制限値、
0:02:32	を評価している報告書の中で、評価されている 48 井川の燃料の交渉 力と、腐食を考慮した場合の補正応力というのは、載っていますの で、その
0:02:42	比率から、減肉量を逆算いたしまして、その平均値に標準偏差の 3 倍 を考慮した腐食率、
0:02:54	を制定をして 7.5%というふうに設定をいたしました。
0:03:00	で、参考文献に、にですね、また参考文献 2 の方に、
0:03:06	原子炉内から乾式キャスクの方に移ったときに、温度が低下するという ことで床の空間体積が若干増加する。
0:03:19	それに伴って、周方向力低下するというような補正係数が 0.95 というふ うに設定されていますので、ここを参考評価においてマツダにおきまし てはその補正係数を考慮して、評価をいたしました。
0:03:34	ということでございます。
0:03:36	その結果表の 7-4、7-5 とす。
0:03:42	に示します通り、
0:03:44	100MPaを下回るかのを、
0:03:49	週刊手法の標的になったという評価結果になったということでございま す。
0:03:58	具体的には、表の 7 の方の方で、
0:04:04	1077 燃料の方は、
0:04:07	かなり従前から余裕のある評価結果になってございます。
0:04:12	1515 年度の方につきましては、今申し上げた条件で、
0:04:17	91 名。
0:04:20	ということで、それからなっていると。
0:04:23	ということでございます。
0:04:25	以上が集荷能力についてのご説明です。次に、18 ページの方に参りま して、審査会合コメントの 8 番になります。
0:04:36	これ被覆管応力の表がですね、当初、評価してた
0:04:44	ことから
0:04:47	満足できていないということは後でわかったということ、そういう事象に 対しまして、PMS上の
0:04:55	対策に、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:56	水平展開等について説明する。
0:04:58	ということでございます。
0:05:00	前回ですね、1 から 5 番までの内容をご説明させていただきました。そのときのコメントといたしましては、
0:05:12	具体的なですね(5)番の自制処置として、米印でつけておりますけれども具体的にどういう内容の
0:05:23	内容を是正するのかと。
0:05:26	それにどういうふうに設定するのかということをもう少し
0:05:30	説明を追加してくださいというのが、コメントの趣旨でした。その赤い赤字の朱書きのところ、追加してございます。
0:05:40	具体的には以下の通り管理するということが一つ目が外部から提示された設計条件を設計開発文書として、社内文書と同様に、
0:05:50	文書番号台帳に登録して管理をするということです。
0:05:55	二つ目が上記の文書が改訂された場合には、改定履歴。
0:06:02	名に変更内容を記載するとともに、文書番号の台帳を反映して、文書番号台帳に反映して、管理すると書いて管理をする。
0:06:13	三つ目で上記の文書の作成、改定の際には、作成と審査と承認。
0:06:20	いう手順のレビューをしては、そういう作法手順をとると。
0:06:25	いう、そういう、
0:06:27	管理をして
0:06:29	外部から提供された設計状況についても、今後、
0:06:33	はい。
0:06:34	社内図書として、文書管理をすると。
0:06:37	ということでございます。
0:06:41	はい。衛藤審査会合のについてのコメントにつきましては、説明につきましては以上になります。はい。阿藤。
0:06:49	ヒアリングのコメントで、3次元解析モデルについての説明。
0:06:55	はい。
0:06:57	ええ。
0:07:07	と資料の、
0:07:09	1-2 の、
0:07:13	23 ページ。
0:07:17	ます。23 ページから、
0:07:26	今回中間の周方向力を合理的に評価をするに当たりまして、燃料集合体の温度、被覆管の温度アノ3次元モデルを用いた評価を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:40	土肥セト思いを行っております。
0:07:42	前回のコメントでですね、
0:07:47	除熱、
0:07:50	に関する、
0:07:53	補足説明資料、
0:07:55	の燃料集合体の評価についてもその整合性を図って、3次元モデルの評価を、
0:08:03	整合性をとってそろえるようにというふうなコメントをいただいております。
0:08:10	この加来の資料では23ページの右側に3次元のモデル、こういう3次元のモデルを用いて評価をするということを、
0:08:20	書いてございます。次のページ、24ページに参りまして、ジルカロイの評価結果ですね、3次元モデルを用いた結果ですけれども、
0:08:30	前回までは255ということだったんですけれども、
0:08:35	三重モデルによる評価を行うこと247度という温度になってございます。
0:08:42	はい。
0:08:43	具体的にはですねもう少し具体的に資料の1-5の除熱機能に関する説明資料の方で、
0:08:55	詳細に記載しております。
0:08:59	ちょっとその資料の中では、ちょっと後ろの方になる所が、別紙の6という
0:09:07	ところになります。
0:09:18	はい。
0:09:20	と。
0:09:22	前回までの提出資料には、3次元モデルの詳細を少し、割愛というか載せてませんでしたので、その部分につきまして別紙6、
0:09:36	形で、
0:09:39	あ、え、
0:09:44	それで、この3次元モデルのまずその3次元モデルの
0:09:52	説明概要ですね、す、野瀬てお参りして、
0:09:59	本文の方では2次元、
0:10:01	脳モデル上、全体モデルそれから輪切りモデルといった二つの2次元モデルで、各部位の温度の評価をしているわけですけども、
0:10:11	燃料集合体の詳細な温度を

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:17	評価するための3次元モデルという形で3次元モデルが一体どういったモデルの方針で作成しているものなのかといったことを、別紙の表のAアベC6-1表5で、
0:10:31	示しています。基本的には2次元モデルと3次元モデルは、
0:10:41	同じような方針です。ただし3次元モデルの方は、
0:10:46	全体的に図面詰めというか
0:10:50	ん時、実際のものですね実態のものを、
0:10:55	うん。そのままモデル化しているということになります。いずれも日銀に指定しましても3次元にしましても、燃料集合体の部分に関しましては燃料集合体モデルという、別途その二次元のですね、
0:11:08	モデルを用いて計算をしております。
0:11:13	それから解析条件を、別紙6-2表のところで、
0:11:19	記載しております。呉がどちらのモデル、2次元モデルも3次元モデルも同じような設定の仕方、同じ境界条件の式を用いてますし、発熱量も全く同じです。
0:11:35	はい。基本的には同じ考え方で、解析をしていく。
0:11:39	結果としまして、
0:11:42	今までの、
0:11:43	二次元モデルから少し保守性を持たした。
0:11:49	計算解析をしていたわけですけども、その時の被覆管の最高温度が255度という形で載せておりましたけども、3次元モデルを用いた詳細なモデルで計算した結果が247になりますと、
0:12:08	であとはアノモデル、或いはコンターツの方。
0:12:13	ます。はい。
0:12:15	簡単ですけど以上でございます。
0:12:20	泥酔よね。
0:12:24	まず最初に、
0:12:26	被覆管ダテについて、こっちで、
0:12:30	確認。
0:12:31	ます。
0:12:35	です。
0:12:36	はい。
0:12:40	今回ね、
0:12:44	減肉の量について、
0:12:47	7.5%という、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:49	7.5%っていうのは、主催はコウ試験の実験、
0:12:58	地熱で行われた試験において、そのデータをある程度ばらつきと考 えて、
0:13:09	これぐらい見とけばいいでしょうという考え方でやられたっていうのは、 してるつもりです。
0:13:16	ただ
0:13:18	いわゆるプラントの中での、要は参加
0:13:24	3項目あったんですね。これが減肉というところで扱われてる。
0:13:30	という認識をしているんですけども、
0:13:33	これは10%なので、もうひと頑張りして、やっぱり10%でOKだってい う、やっぱ結論を導いていただく必要があるんじゃないかなと。
0:13:44	考えています。ですから、
0:13:47	ある程度いろいろ現実的なところで、
0:13:51	ただクライテリアとしては、クライテリアという基本条件として、
0:13:56	10%が減肉したときに、もう、例えば99.9という結果かもしれませんが ども、それでも
0:14:06	いいと思うんですね。で、さらに、実際の評価で、今いろいろかなり現実 的な評価っていうのは取り入れていただいているという認識をしていま す。
0:14:15	今の3次元のモデルとかね。
0:14:19	あと、
0:14:20	例のアノ。
0:14:22	文献のいろいろお調べいただいて、やった、あの辺でその文献をもう少 し、
0:14:32	読んでいくと、
0:14:34	要はあれだ、あれ、プラス、また、まだ抱え考えられることがあるんじ ゃないかなというふうになんとなくそういふところがあると思われるんで、
0:14:45	その辺を踏まえてね、最終的な結論は、今7.5で辛うじてところができま したけども、もう少し、もうひどいねと言ったらおかしいですけども、
0:14:56	もう、もう少し、
0:14:59	もう1考察かなんか入れて、次、10%で、申す。
0:15:06	大丈夫ですよという結論を、結論をお示しいただきたいと。
0:15:11	いうのがし、
0:15:13	最初のコメントというか、
0:15:15	ということになります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:19	で、ちょっと引き続いてありますね。
0:15:21	はい。
0:15:22	で、論文やりました。一応、
0:15:28	どこに書いてあるって要はあれですよ。PWRが95%、PWRが1090%。
0:15:35	いうふうに示されてるところで、
0:15:38	あれってどういうことかっていうと、炉内の道内で主張として、例えばある書き方からいくと、
0:15:48	本当にそれフルフル質量かどうかちょっとわかんないんですけども、線出力が1キロワットパーフィートだったかな、の時から、理系1だけになった時にこれぐらい変わりますという
0:16:01	説明があったと思うんですね。
0:16:04	そういうことはどういうことかという、要は、運転中と0谷なった時に、要は出力終わった時の差がこれぐらいあるんですよということを彼らは彼ら分析したってということだと思うんですね。
0:16:17	ですから、あまりその貯蔵中というふうな何かご説明があったような感じがするんですけども。
0:16:25	さらに、実際に、300ぐー50度ですかね今のね、初期状態が、
0:16:33	その初期状態ってところの圧力っていうのは、まだ線出力が出てる状態で、それから終わって95%になって、さらに温度が下がってくると。
0:16:45	いうふうな考え方だと、いうふうにこちらとし、そういうふうに追えるんじゃないかなというふうに思われます。
0:16:53	で、
0:16:54	ただですね、わかる範囲でもいいと思うんですけども、本当これ1055とか17、
0:17:01	Pで1くくりBで1括りという形になってるんですけども、
0:17:05	15と17で本当にどうなのかと、どこまでその辺わかるかっていうところで、包絡的まあ崩落してるっていうふうな感じで何かわかれば、非常にいいと思うんですけど、その辺がわかればですね。
0:17:18	何か教えていただきたいなというふうに思います。
0:17:23	基本的にこれ使うことは全然いいんじゃないかなというふうには思ってますけども。
0:17:28	やはり、要は海外の、しかも、データ自身が、下条さんもタカハシもよくご存知だと思いますけども、まだクリープがね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:42	被覆管の健全性をし、ちょうど中の、要は被覆管の健全性をし、示す上での律速の時代に、何とかやって、
0:17:54	逆にこのレポートによって、むしろ、要は超長期間の冷却を置いて温度の落ちにくいレベルの方が、クリープを評価する上では厳しいよというやつだったというふうに、
0:18:08	これだというふうなことはちょっと理解いたしましたので、
0:18:12	その時代のレベルで唯一違うのは到達燃焼度ぐらいでね、恐らくは、さほどは変わらないと思うんですけども、
0:18:22	ただそこで使うというところで基本的な条件とし、しての 95%9095%ということで、別にもう使える数値だとは言います。
0:18:34	ですから、それに加えて、例えば先回も申し上げたかも知れませんが、
0:18:45	急患事務管理自身は非常にね、線膨張係数がちっちゃい。
0:18:50	うん。ウランがウランが大体手数料ちょっと低いぐらいと。
0:18:56	これらはステンレスでしょうから、それなりに大きいということになると、どんどん広がる方向でいって、温度を、温度がある程度詳細に見て、下がっていくようなレベルであれば、
0:19:12	おそらく圧力の低下でもっとあるんじゃないかなという感じがしますので、
0:19:16	ゆ、要は大使がもっと広がるということですね。
0:19:19	ということになるんじゃないかなという感じがしますので、その辺も、先ほど言った防止と考察というところで、今、ここまで詳細に
0:19:30	頭被覆管の有無とかですね、ある程度 3次元で出し、出して基本的には従前のやり方に基づいてそれを 3次元に拡張したというふうに理解してるんですけども、
0:19:44	であれば、いろいろ細かなところで確認するところはあるかと思うんですが、基本的にやってること自身はそんなに問題ないんじゃないかなと思ってますので、その辺をもう少し考えていけば、
0:19:58	例えば 10%でも 10%減額を考えても、今の、要は現実的な温度分布のもとで、要は、ある程度、広がった。
0:20:09	空間体積でということ、どうなのかなと。その辺が、下げられるまでうちがあるんで、下げられる言ったらおかしいですけども、さらに現実的な評価に近づけることができるんじゃないかなと思うんで、
0:20:23	今言ったのは逆に言うと 1 例かもしれませんが、
0:20:28	その 1 ひねりでやっぱり最終的に示していただきたいのは、やはり、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:33	中の 10%の、要は酸化皮膜があっても、減肉があったとしても、現実的に考えれば問題ないんですと。
0:20:44	もちろん、メインのところは、先回も先生から申しあげました通り、下条さんの方で言われている、交渉カナカイでこうですよと。
0:20:54	だけど、
0:20:56	細かくやって現実的にやれば全然 10%を考えても問題ありませんということがね、わかるような形で、最終結論を結びつけてもらいたいと。
0:21:04	というのが確認であり、
0:21:08	コメントとしてね、ちょっと申し上げたいと思います。以上です。
0:21:15	はい。
0:21:17	PMのシモジョウです。コメントはお伺いしました。
0:21:23	確認なんですけれども被覆管の腐食厚さのパーセンテージを、10%で土岐アノ受アノ皮膚管のその何て言いますかね、機械的な強度を担保するための
0:21:36	一つの目安として 10%っていうので、燃料メーカーさんが評価されてるのは、存じております。
0:21:45	今回 7.5%を設定したのは、
0:21:52	10%ってのは一種の皮膚科の練りをひょアノ設計する時に考慮する。
0:21:59	何て言いますかね最最大値が 10%だというふうに、
0:22:04	思ってます。今回 7.5%にしたのは、それを基準値といいますかヒュー管の一番マックスに、一番薄くなるときは 10%なんですけども、
0:22:16	今回の評価としては現実的な条件でというふうに我々、ちょっと
0:22:24	解釈しておりましたので、具体的な実測値から、
0:22:28	10 数行 14 ナカ 85 ぐらいのデータがありますのでそのを統計処理して、評価する分には十分な
0:22:38	エムスリー柘田データ数があるというふうに考えて、7.5%というふうな設定をさせていただきました。
0:22:46	で、
0:22:48	この、先ほど大江さんからもご指摘っていうかコメントをいただきましたように、
0:22:54	アトベ先生としては、
0:22:56	交渉力の落ちるっていうことでそういうことで
0:23:01	ご理解いただいているということなんで、現実的な条件のところ、どこ、どこまで現実的な設定を考慮しても良いものかというところ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:12	かなと思うんですけれども、10%で、評価してくださいっていうのはそれは一つの考え方で理解はしておりますが、
0:23:23	はいっていうことで、
0:23:25	我々としては現実的な条件として7.5%っていうのも、
0:23:31	説明。
0:23:32	説明できる。
0:23:34	腐食、厚さ、
0:23:36	だというふうに思っ、設定させていただきました。
0:23:40	はい。7.5%線については、一つ、こちらの我々が考えた意見としてご指導申し上げさせていただきました。説明させていただきました。
0:23:49	もう1点、0.95の係数の件ですけど、こちらの方は、
0:23:56	うまく
0:23:58	どこまでね、東条さん。
0:24:02	1983年からね、30億円で多分これ、入れるかどうか、相手とか、ばてるのレポートですよこれね。
0:24:14	確か。
0:24:15	ビー・エム・エルでしたっけ、アカシイクノスズエストラップそうですね。
0:24:22	だから、あそこでコウで多分、いろんな要は、中で、懐かしい商用商用燃料、貯蔵プログラムですかねCSC。
0:24:34	CSFかな、何かその一環でね、やられたやつっていうのはわかって、
0:24:40	るんですけどね。当然その基本条件だから最終的に使った目的っていうのは、当時の
0:24:49	クリック評価前提全盛時代でね、
0:24:54	多分昔380度って言ってるのが380高杉んじゃないかねとか、そしたら知らないし380ぐらいになって、いや、違うんじゃないかというふうないろんな議論があって確か。
0:25:07	初期の1億のね、町道、キャスク。
0:25:11	の時には、この辺の、要は
0:25:15	このレポートがベースかどうかわかんないですけども、そういうところで、参照されたレポート問だったんだっていう、何か認識は、
0:25:26	読んでて思い出したところあるんですけども。
0:25:29	だから圧力として、
0:25:33	使い方から見ても多分問題取り入れたいかなという感じはし、本体というか運転時の話と、運転が停止した状態の日等でね、
0:25:44	多分、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:45	ベッドが遅れてるか遅れてないかって話じゃないかなという、いう
0:25:50	ということでそういうことを考え、要は多分、炉内の評価で、その辺でどれぐらいそれが出るとか、いろんな中で書いてあるその計算コードとか何とかってというのが、
0:26:03	多分その辺で出力0っていうか、崩壊熱だけにしたらこんなになりましたっていうところベースだと思うんで、さほどそれを、もうそれは多分、当然、
0:26:14	認証されたコードで評価されたっていうことであれば、これはタテ使えるんじゃないかなって感じは、思いました。で、はい。
0:26:24	だからそこでもう、
0:26:27	さらにねやっぱりそっから温度下がってきてますからね。
0:26:31	そういうところの効果ってというのがね、もう少しもう入れれば、多少なりとももう、
0:26:39	皮膚、内圧っていうかその空間体積とかが、
0:26:44	をさらに緩和させ、
0:26:46	広くするというか圧力を緩和させる方向に行く。
0:26:51	こともできるんじゃないかなと。
0:26:56	いうふうな感じ。
0:26:59	というふうになんかちょっとこちらも
0:27:02	等を考えましたので一つの考え方としてね、そういうことも、
0:27:07	そういうことも、
0:27:09	現実的な評価というところの一つとしてね、別に線膨張性向上体積膨張を考えることは全然もう普通のことですから、はい。
0:27:18	そういうことを少し入れてる。
0:27:20	もう、
0:27:22	もう万コンサルリファーマ行ったらどうかと。
0:27:27	今おっしゃった、すっきりしましょうってのは、0.95っていうケースはこういう文献があってそれはそれなりにニイツなんか、リーズナブルな海田ホデアノされてるだろうとそれにプラス、
0:27:39	その中で、出力時ともう完全にとまって崩壊熱だけの状態というその整理ですよそうですね、それから、なおかつプラス操作貯蔵貯蔵状態に関しての状態、また温度が例えば200トンとかそういうことで下がるわけなので、
0:27:57	素行の下がる場所を先方調査で、
0:28:02	もう一つ、もう一つ堆積、さあ、空間体制が増えることで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:08	圧力が下がるという表現ができるのではないかとそうそう。
0:28:15	そういう。
0:28:20	はい。
0:28:22	いずれにしましても、
0:28:25	2週間の食の比率というのは、
0:28:29	僕はやっぱ10%で評価をして、
0:28:35	許容されてるというベースで、プラントの方でその前段階で許容されてるところっていうのが10%という状況であれば、そちらをまず、あるフィックスした条件なんだけども、
0:28:49	だけどそこでいろいろそこから所蔵に至るまでに、今日は
0:28:55	それぞれそ、
0:28:57	今決める因子ってのはいろいろあると思うんだけども、その辺で考える要素っていうのはもう少しあるんじゃないかなっていうことで、はい。
0:29:09	主務。
0:29:10	いたしました。
0:29:14	はい。ちょっと、
0:29:16	おそらく先夏井MPa3MPaぐらいってことね。せめぎあいやってるような話だと思うんですけども。
0:29:24	恐らくは、
0:29:26	多分体積にしても、それなりに温度が下がってくれば、
0:29:31	救える。顔化をするっておかしいけどある程度説明、説明できる前提の条件のもとでね。はい。
0:29:41	できるということもあるんで、そういう考え方た。
0:29:45	というフカワ実際考えられることをやって、はい大丈夫でしたと。
0:29:50	いうことを行っていただきたいと。
0:29:54	はい。
0:29:58	一緒にしました。
0:30:01	ちょっともうすもう1人、検討させていただきます。
0:30:10	はい。
0:30:13	はい、じゃあ今っていうは、
0:30:15	まずリンク率が10%っていうところも整理しましょうって話と、
0:30:22	現実的などところというところで、
0:30:26	さらにもう、
0:30:30	考えられることを踏まえて、
0:30:33	等見直しでもらえればと言います。はい、わかりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:40	櫻井さんから。
0:30:44	今保税さんは、この文献は昔のやつ。
0:30:49	で、まあまあちょっと古くて、実際はこう出る前の話。
0:30:55	イシイだけど、まあまあ通らませんよねみたいなことはおっしゃってたんですけど、私初めてこの間行った時、この文献が、
0:31:04	いいのか悪いのかわからなかったの、この文献がマナベなんていうか、教科書的なものなのかそこら辺から拾ってきたものじゃないってことを、コサクか何かで。大津。
0:31:16	一文入れてもらうなりしてこ。
0:31:19	文献を使ってもいい妥当性を少し記載、追記してもらったらなと思います。
0:31:26	もう、私の初めのところ、この文献信じていいのかってところだったんです。
0:31:32	昔は、バイブル的なものだという、
0:31:37	話をしてもらったら、ああそうなの、信じていいのかなぐらいだったんで、
0:31:42	ちょっとその説明もちょっと、1987、30、40、
0:31:48	入れてもらえたらなと思う。
0:31:53	Tーシモジョウですが
0:31:57	この文献のですね
0:31:59	具体的に0.9、PWRの場合、0.95っていう係数が評価されてるんですけど、
0:32:07	ちょっとなかなかその、その具体的にどういう条件でどういうふうにして、0.95っていうふうに設定されているかっていう、細かいところまでは、
0:32:18	この文献の中だけはちょっと読み取ることができないんですね。
0:32:23	なので、その0.95の妥当性とかその、或いは保守性ですかね。
0:32:28	ていうところを、はですね、なかなかちょっと説明がしにくいところ。ただ、
0:32:37	解析コードですねGTGTR通っている被覆管の中の、そのゴールっていいですか圧力を評価する解析コードが使われてそれを使って評価しているってことは書かれているんですけども、
0:32:50	その解析コード自身はですね、
0:32:54	OECD、
0:32:58	高度データバンクの中にも、今も登録されている堆積構造であるということを確認しましたので、何かこう、どこかのPRA、プライベートの解析コード行動システムで開発されたようなそんなものじゃなくて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:12	ちゃんと国際的なそういう
0:33:16	解析コードのデータバンクの中でも、登録されているコードであるということ でその使ってるコード自身、具体的にその条件が細かい条件のまでは ちょっとこの文献の中だけではわかりかねるんですけども、
0:33:30	使っている改正コード自身はですねそれなりに信頼のおける計算行動
0:33:38	であろうというふうには思っています。
0:33:41	唯一II
0:33:45	ど、どうなるかなと思ったのは、
0:33:48	これ要はデータ取った方がそれこそ30年とか、
0:33:52	それこそ僕がキャスク始めた頃、レポートなんだと思うんですけども、タ ダなんか読んでると、NRCこれ結局最後はね、
0:34:03	これ、要はNRCがいろいろ言って、それで、要は、DOEなり、においが 受けてその下で、先ほどのパシフィックのすウエストラボラトリーがやっ て、
0:34:15	結構当時、大阪に来議論されて、で、
0:34:19	恐らくは、下条さんとか渋谷さんの上、角田さんとかね、赤松さんとかが いろいろこう、当時の1Fの評価やったときに、多分この辺が参考にされ てたじゃないかなという感じは、
0:34:34	参考でこれが直接かどうかわかんないけど、タダのときに、要は温度の 効果分を温度の効果によってクリフクリーブを考えた。
0:34:44	の、要は許容温度どうすりゃいいのっていうところで、結構温度の、要は その貯蔵期間中の落ち方っていうところを検討してた時のやり方、その 時のこれ指標としよったらおかしいけど
0:34:58	例の中に書かれているグラフというのがね、あれベースで、それぞれ、
0:35:03	例えば、
0:35:05	若いときには、格子型が激しいからっていうのはまさにその、その
0:35:10	当時いろいろオギ30年ぐらい前に議論した話と全く重なるところがある ので、
0:35:19	NRCがねどっかでどっか言うんで、これ見てなんかな、納得したような 感じをちょっと読めたところもあったんだけども、そういうところで一応こ ういう、
0:35:30	このレポートの経緯って言ったらおかしいけど、そういう、いろいろ当 時は30年前、こういうことがあって、それに対して、
0:35:39	DOEが受けてやって、最終的にあるし、NRCがどうしたかっていうと ころも結構大きいと思うので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:46	その辺でそのNRCまでオーソライズ、ある程度これで納得したっていう話であれば、それ、それ相応にね、やっぱり当局、米国の方でまさにTC RPart72 に対する適合性の評価っていうところでね。
0:36:00	使われるレポートだっていうことになれば、
0:36:04	いいと思うので、その辺で信頼性っていうのはある程度説明できるんじゃないかなという感じもしますけどね。
0:36:26	確認する。
0:36:32	はい。
0:36:36	こちらから特にございません。はい。この被覆管前に関して何か、どちらか。
0:36:44	確認したいと。よろしい。
0:36:49	杉井は、熱解析モデルの2次元モデルが3次元モデルなんですけども、ちょっと幾つか、
0:36:56	私からもあります。
0:37:00	資料でいうと、1-2のカガワクボ終了。
0:37:05	参考で、4、
0:37:09	ページ目で、
0:37:17	24ページ目では、二次元、
0:37:21	45ページ目は3次元
0:37:25	で、いずれも、
0:37:27	以下の通り日程上、適切に考慮したモデル化を行っているということで、
0:37:33	特段裾税二次元3次元についての、
0:37:38	説明が、
0:37:40	同じになってるんですけども、
0:37:42	ポイントとしては、
0:37:46	今回、
0:37:48	温度が二次元で255。
0:37:51	3次元では240かなと。はい。保守性を削ってるっていうことで、
0:37:57	その点の、
0:37:59	温度がその保守性を削ったっていうところが、どの点になるのかっていうところを、
0:38:05	少し、
0:38:08	モデルの説明の中で、
0:38:12	ポイントを簡潔にまとめて欲しいんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:16	もうちょっと資料修正お願いできますか。はい。
0:38:19	はい。
0:38:20	anノムラですけども、逆に言うと2次元の方にそういう保守性を設けたモデルになってることなので、そういう説明。そうですね。そうですねそのモデルの特徴というか、
0:38:35	それ、最終的には、その255度が247という結果に結びついてるので、はい、じゃあその、
0:38:43	差分の8度はどこが違うのかというところが、この3個の、
0:38:48	保守の中でちょっと明確に返してください。
0:38:53	それから、この補足の方なんですけども、
0:38:57	1の方の、
0:39:03	ページで言うと、
0:39:07	1ページ。
0:39:13	1-2からずっとモデルの。
0:39:16	概要と解析条件を書かれてあって、
0:39:20	(1)は全然、(2)は、(3)3時05では今回追加になって(4)で、エンドウっていう工程モデルになってるんですけど、
0:39:30	何か3次元モデルだけこれ別紙の方に、
0:39:33	示すって書かれてあって、
0:39:35	他のモデルのその概要と解析条件の説明ぶりと、
0:39:40	平仄。
0:39:42	なっていないなと思って。
0:39:45	ここは、
0:39:46	3次元モデルの説明も、
0:39:49	他のモデルと平仄を合わせて、
0:39:52	ちょっと記載、
0:39:55	はい、承知しました。
0:39:58	阿藤。
0:39:59	同じ資料の別紙1の12ページ目。
0:40:06	これフロー図があるんですけど、
0:40:09	この中に何か3次元モデルっていうところを少し明確に、
0:40:25	はい。
0:40:26	承知しました。はい。
0:40:29	同じ資料の別紙6の2ページ目、
0:40:41	モデル化方針があるんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:44	上から三つ目。
0:40:48	中性子照射政策。
0:40:51	これの3次元モデルと、
0:40:54	2次元モデルを比較すると、3次元モデルの法律図形上モデル化して、
0:41:01	これ一の熱伝導率の設定の話は何も書かれてないんですけど、
0:41:07	これ多分、
0:41:08	根井上野、エンドウ使用材料ってバスケット講師団とか見ると、
0:41:15	熱伝導率の設定の話があつて、
0:41:18	ピンと遮へい材のところは、
0:41:22	熱伝導率の設定っていうところは、
0:41:26	どういう方針なのかという、
0:41:29	確認した方がいいかなと思うんですけど、いかがでしょう。
0:41:48	はい。
0:41:50	そうですね。はい。PLオオクマですけども、何かその2次元と3次元と比べて、同じなのか、違うのかっていうところが、
0:41:59	いろいろ、
0:42:01	配慮集合体領域とバスケット防止剤の書きぶりとも比較しながら見ると、はい。
0:42:07	熱伝導率の設定っていうところは、
0:42:10	同じなのが違うのかって言ったら、どちらになるんでしょうか。
0:42:14	2次元の場合は2種類。
0:42:17	ありまして、この切りモデルの方は、例えばバスケット格子材につきましては、技術系場をモデル化しています。
0:42:28	で、3次元の方は、そのIF輪切りモデルと同じように実形状をモデル化してるんですけどもそれが軸方向に来ずどんどん伸びているような形。
0:42:38	ありますね。
0:42:41	熱. アノ、
0:42:44	熱伝導率につきましても、
0:42:48	これ参事の方はそのままそのままというか、
0:42:53	或いは部材の熱伝導率を与えていますがここではそのギャップの話を追記しています。
0:43:03	実際にはキャスクのナビ、
0:43:08	内部と、バスケットに少し隙間がございます。別の部材なんでございますので、そのギャップというものを仮定してますということを、ここに記載しています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:19	下の電熱品及び色中性子廃材の部分もですね、輪切りモデルは、実形状をモデル化しています。
0:43:29	これと同じで3次元の方も実形状をモデル化してます。実は、軸方向にそれが伸びていると。端が当然端から端まで入っているわけではないので、
0:43:40	図面上、存在している部分までがそういう電熱品が存在してて、ない部分につきましては、実際は中性子遮へい材だけが存在してるっていう部分は存在あるんですけども、それも3次元モデルで、
0:43:56	モデル化しているということにより詳細というか
0:44:02	図面通りにモデル化されてるのが3人、
0:44:06	ということになります。一部そういうところローンでモデル化し切れないところが2次元モデルではございまして、
0:44:15	例えば全体モデルだとそういったところがこう均質化して、考えているといった形で与えています。
0:44:28	アベ表記としてはこれも表記で正しいんですね正しいです。
0:44:32	わかりました。
0:44:34	いや、正しければ、はい。ここは桐島ですけど、まさにその実形状モデル化っていうのと、3次元モデルなのでキャスク全体を
0:44:46	可能な限り、周知する。うん。燃料集合体のところは燃料集合体のバスケット資格更新の中は均質化してますけれども、
0:44:57	それ以外の部材が基本的に全部、3次元で何とかしてそれはオオウチスキー場のモデル化ということになってます。2次元のモデルのところでは参考にも書いてあるのは今ここが申しましたように、2次元モデルはどうしても
0:45:11	3次元モデルにモデル化できない、どうしてもその制約があってもできないところについてはこういうふうにモデル化してますっていうのを、参考に変えているということなのでわかりなので、これはこれで記載の関係で特に内容的には問題ないと。
0:45:28	次の、
0:45:31	別紙6の3ページ目が、
0:45:33	解析条件なんですけども、条件も2次元モデルとほぼ同じ考えはわかるんですけども、
0:45:42	ただこの上から四つめの項目も、
0:45:46	使用済み燃料集合体、
0:45:50	もう収納配置ごとの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:53	発熱位を設定が、
0:45:55	この 2 次元モデルと比較すると、
0:45:58	これも同じではないんですよね。
0:46:00	でも何か読んでると何か同じようなことが、
0:46:04	読めるんですけど。
0:46:06	どこが違ってどこが同じなのかっていうところを、
0:46:11	少し何か図等を用いて何かわかりやすく何か説明が必要かなと思うんですけども。
0:46:18	何か説明の工夫をお願いできますか。これ、ちなみにどこ、どこが同じところが違うのかっていうところ。
0:46:26	分かる範囲です。
0:46:34	えっとですね、基本的に 3 次元はその燃料集合体の軸方向のピーキングの
0:46:46	分布も考慮したモデルになってますので、それに対して二次元はと言いますと、アノに全体モデルって呼んでるものにつきましては、
0:46:57	軸対称モデルなのでここでは、均質化したものを担っています。それで、どういうふうな均質化をしているかというところで、
0:47:08	平均、この
0:47:11	TK26 型で設定している発熱量が上から 2 個目に書いていますけど、この発熱量、
0:47:20	に対して、
0:47:21	平均燃焼年度、燃料の発熱量を、
0:47:28	与えているということになりますんで、輪切りモデルというのは一番ピーキングファクターが高いところ、一番厚いところを、
0:47:37	評価するためのモデルということで、それが真ん中に 10、
0:47:45	中央部が 12 体の最高燃焼度燃料、それから周囲に、14 体が平均燃焼年度ということになるんですけども、その配置の仕方については 3 次元も二次元も同じということには、
0:48:01	読んでて、例えば、
0:48:03	中央部の使用済み燃料集合体 12 体は最高燃焼度燃料の発熱量で設定とか参事名モデル書かれたって、二次元モデルでも、はい。
0:48:16	中央部の使用済み燃料集合体 12 体は最高燃焼度燃料の発熱設定って書かれてるんですけど、中央部は同じということでもいいですか。
0:48:27	そうですねはい。はい。
0:48:29	中国じゃ外周部が違うということですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:32	その通りでして
0:48:38	2次元モデルの場合、特に輪切りモデルの場合はその断面だけ取ってきて、事故方法に、
0:48:47	本当は軸方向に行く流れ、熱が流れていくと思うんですけど、それをモデル化できないので、その全体モデルでも、
0:48:58	計算した事故方向の熱の、
0:49:01	流れっていうか、逃げって呼んでますけど熱の逃げを、この輪切りモデルに入れてあげてるんですねそうでないと、こちら、
0:49:10	輪切りモデルに関して言うと、事故方向の熱の逃げを考慮しないモデルになってますので、非常に火、
0:49:19	課長に安全側の高い温度になってしまうということなんですね。
0:49:23	逃げていかないっていうのがこちら中央部のところはまあ同じレベル、西部のところの違うところは少し補足で説明をお願いしますか。わかりました。
0:49:35	シマ所ですが
0:49:39	9、ちょっと松本さんのご質問は、
0:49:43	2次元と3次元二次元の輪切りモデルと3次元という違いはありますけど、
0:49:49	要するに燃料集合体のその発令する制定の仕方、中央部と外周部の柱の設定の仕方っていうのは違いあるんですか同じなんですか、っていうご質問。
0:50:00	そうですね今日見て、二次元のモデルから、
0:50:04	選べると解析条件で、
0:50:06	と同じでない、これはその項目なので、同じ、同じ値と同じという考え方でいいんじゃない。同じですよそれはお願いします。中央部、
0:50:17	キャスクっていいですかキャス全体に入っているはずでずっと26体分が平均。
0:50:25	燃焼度。
0:50:26	相当の、
0:50:27	発電所を設定しています。で、その全体は平均燃焼度で設定して、ただし、その中央部分、
0:50:36	燃料の真ん中の辺りを、高アノ、高い温度評価、保守的に評価するために、受注オオノ12台分については、最高燃焼度の発熱量を設定します。で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:49	外周部分っていうのはアノですから、トータルは平均燃焼度で 26 タイプの発電するキャスク全体は、その中央部の最高燃焼度の 12 台分の発熱量を、引き算やった分、
0:51:02	分を外周部に置くという考え方なんですけどそれは、その考え方は、二次元も 3 次元も同じ。うん。考え方は同じです。同じってことですね。すいません。同じなんです。同じなんですけどちょっと 2 円の方が、
0:51:18	全体と輪切りで設定が、少し考え方が違うので、ちょっと表記上同じとかいけないんですけど、こんな考え方としては、二次元の組み合わせしたものと 3 次元は同じだと。
0:51:31	ということになりますね。はい。
0:51:33	ここちょっと表記としては、同じところと違うところは少し明確に、違うところが少しわかりやすく説明を。
0:51:42	強い所。
0:51:47	今のところ、そうですね。湯浅ですけども、
0:51:52	結局うちの中でも、
0:51:55	中で説明するにあたっては解析二次元の 3 次元っていうのは、イメージがさっぱり違うんです。解析条件は一緒なのって言った時に、ほとんど一緒だけど、
0:52:05	異なる部分もありますという説明をしたらどこが異なるのって言った時に一言で、何て答えるかを求めてるっていう。なるほど。はい。で、広域をこの表を見るとほとんど同左って書いてあって、
0:52:18	ほとんど条件変わらないんで、変わってるところがもう一行とか 2 本あるんでそこがピンポイントに何が違うのかっていうのを端的に書かないと、いろんな意味がない。
0:52:30	今まで書き直して、
0:52:34	どこかに入りましたっけかなんかでね、例えば、はい。
0:52:38	全体モデルで、全体モデルで宇和で切った時ね多分投信でコガやってる、ありますよねで、いわゆる外周部に、要は、
0:52:47	トータルの今の設計発電、設計圧物量のうち 12 タイプの真ん中の丸のところはコビットコウた開発熱量があって、それに、割合が合うように全体
0:52:58	再再構というカセ設計はつる部分を周囲にコウ張り付かしてやってるっていうようなところなんで、例えば、
0:53:07	こういうRzフルヤたらこういういわゆる円柱を打った切ったような、だけど逆に言うとこの断面とって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:17	コウとコウとかね。
0:53:19	例えば、
0:53:20	す、輪切りモデルだとは海田そのものだから、だからこうしてこここうします。例えば、ナカノモデル化っていうのは当然
0:53:30	全体モデルではね、バスケットの形状とか何とかで、
0:53:34	モデル化できるわけだから、そこ考えてますっていうようなところでね、結局は、熱の逃げ方っていうの一緒じゃないすか結局、これ隠しようが、その外側に行けば、
0:53:46	Tallで追従という形で、次方向のところの補正っていうのを逃げて考えるわけですよ。そうですね。だから、
0:53:54	今の中で、その辺がきっちり今の、要は補足説明資料の中で読めるのであれば、それでいいでしょうし、例えば黄色みたいな
0:54:05	こちら側から確認をした内容に対しては、要はそれぞれ、
0:54:11	得てして先ほど言ったようにRzRzしか北川ないけども、例えばこう切ったときにこうしてますよとかね、ここはこうしますとか、
0:54:19	特にバスケットのところとあそこぐらいだと思うんですけどねで、
0:54:23	当然どっかに書いてあったと思うんですけども、要は、例えば輪切りモデルと全体もですね、どこの温度を合わせるためにこういうことをやってるのかとかね。
0:54:33	ということで、今一度、書いてあるかどうかちゅう、ちょっと確認していただいて、どっかで見たことある記憶あるんですけども、
0:54:42	だからその辺で全部整合とれてますよと、3次元は特にそこでやって、要は、本来、本来単発で、ある特定断面を評価するということから全体評価する必要があるんでっていうことで、全体モデル使いましたということで、これ、
0:54:58	ただ、
0:55:00	3次元と、
0:55:02	2次元プラス上着
0:55:04	に、
0:55:06	3次元がスペシャルっていう感じであるそれぞれ、ちゃんと、ちゃんとその辺で、
0:55:12	必ずやられてると思うんですけど、3人やったらよかったねってわけじゃなくて、やっぱここで考え方は整合とれてんですよっていうことがわかるようにしておかないと、何か特殊なことやったなっていうことに、いうふうに見えて見えてしまうので、基本的に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:27	全体と輪切りで、要はキャスクの主要の温度は決めてますよね。はい。今で、
0:55:34	燃料集合体で面倒くさいことっておかしいけどちょっと難しい話があるんで、そういう3次元でやりましたっていうことだけど、ここまでの考え方は一緒ですよっていうことをしっかり言っておかないと。
0:55:45	何かやはりちょっと特別なことをしたねっていうことになるんで、全部同じ考え方に基づいてそれぞれ用途に分けてこういうやり方やってるんですっていうことでね。はい。
0:55:56	もうほとんど、ほとんど共通はもうこうだから術ですっていうふうなことがわかるような形で、説明され、
0:56:03	んのが望ましいと思います。
0:56:09	はい。
0:56:10	規制庁松野です。
0:56:13	前回、
0:56:14	については、以上、
0:56:17	追加、はい。
0:56:19	矢藤、私の方からQMSの話なんですけども、
0:56:30	確認なんですけど、
0:56:34	回答(2)の発生原因で、
0:56:39	別管理していなかったというところが原因としてとらえ、
0:56:44	でも、
0:56:45	はい。
0:56:46	そもそも、
0:56:48	この原因、
0:56:49	というのは、
0:56:51	識別管理ではなくてです。
0:56:55	この情報収集の段階で、
0:56:59	問題は、
0:57:00	あったかなかったかという、
0:57:02	そこは、
0:57:03	明日はないです不是吗はい。
0:57:05	必ずあれですか、この情報が変わったことは必ず、
0:57:10	情報が変更した所、ことをフランスに怒られに入ってくる。
0:57:16	まず入ってきて、すいません入ってきてます。入ってきてたんですけども、そのいただいた他社から異動した、その条件、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:27	の改訂されている箇所が、
0:57:33	非常にわかりにくかった。
0:57:35	情報としては来るわけ情報は情報提供を受けてました。
0:57:40	最初いただき、最初受けた情報がある時期に受けた情報がありました。
0:57:46	そのあと変わったんですね。うん。条件が変わった情報追加で、改訂版が、
0:57:54	届いたんですね。はい。その時にその改定された箇所というのが
0:57:59	解決されてるかされていないかっていうのが、
0:58:01	わかりにくくて、変わったということを認識することができていなかったということなんです。
0:58:12	それを台帳ところとして管理することによってそこがしっかり識別管理ができるということですが、今回、はい。ですから、最初からちゃんと外部、外部から提供された図書っていうのは、社内とするだとか表紙をつけて
0:58:27	それを表新図書として登録するってこと改定履歴。
0:58:31	ですね、改定履歴表。
0:58:34	もつけることになってますので、そうすると、改訂版が
0:58:40	出た、その改定、改訂箇所をどこが改訂したかっていうのを、その改定利益のところに、何ページのどこが変わったっていうのをカクウことになりしますので、
0:58:51	そういう管理をきちんとしていればわかりにくかったんですけども、ちゃんと
0:58:58	変更箇所を
0:59:01	認識できていた。
0:59:04	はずだと、いうことでございます。
0:59:07	なので、はい。今後は確実に未然防止はできると。
0:59:12	はい。
0:59:14	はい。
0:59:16	はい。
0:59:17	はい。
0:59:21	使って、はい。
0:59:23	もう、
0:59:24	このあたり、大丈夫なのっていうヒアリングでの確認を受けて、僕は見直しで値違ったっていう流れだったんで、僕は問い合わせたのかなと思ったんです。最初、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:35	そうではないんですよ。その問い合わせないと、新しい情報ってやっぱこう会社同士なので、
0:59:43	ないのかなと思ってたら、タダコウリ、
0:59:47	履歴カルチャーっていうのはコウ。
0:59:50	変えました、峰中出来るってこと。
0:59:55	1回契約、契約がないんですけど、
1:00:01	はい、その場でデータもらったら、NASTRANリンクレアさんが更新しない、更新とかしないと。
1:00:09	ずっとこの
1:00:11	ちょっと前作りながら、
1:00:13	解析するってことは、
1:00:15	になるのかなって思ったんですけど。
1:00:18	三浦さんが、これからはこう、
1:00:21	わかりました。
1:00:22	拾うって感じでくる。
1:00:26	Tnシモジョウ、具体的にはですね燃料屋さんから直接もらってるわけではなく、
1:00:33	オオモトてところは燃料メーカーさんかもしれないんですけど、村井ササキ家、
1:00:41	事業者さんから経由して情報をいただいています。
1:00:46	で、その時はその設計条件とか、必要な情報を受けながらですね、並行して、
1:00:56	キャスの設計を進めていってるんですね。その時に
1:01:01	燃料のデータを一度会議されました。で、その
1:01:06	その最終的な条件書っていうのはその、
1:01:09	最終版としては
1:01:11	ちゃんと最後にもらうんですけどもその
1:01:14	変更して、情報をもらいながら並行して設計を進めているので、その
1:01:21	ちゃんとその自由参加いただく時の情報っていうのも、
1:01:25	ちゃんと何か表紙がついて、リビジョンゼロで次はリビジョン1でとかつていう、そんな形でいただいているわけではなくて、
1:01:33	その条件書の資料、ある電子データのような形で、日々、日々っていうことじゃないんですけど、ある。
1:01:43	タイミングで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:45	いろいろ設計条件とかを調整しながらあるタイミングでこう書いて判こが送られてくる、来てたんですね、当時でその、ですからその中で、正式に何かそういう表紙がついたの。
1:01:58	改訂管理表がついたようなそういうドキュメントでいただいていたわけではなくて、電子データのファイルの状態で、あるタイミングで、改訂版改訂Oneってな形で、
1:02:10	何回かに分けて、そういう情報をいただいていた。ですので、その中で、そのデータの電子データの中でその改定されている箇所っていうのが、
1:02:21	ちょっと、
1:02:23	パーツに非常にわかりにくい。
1:02:26	状態になってたと言うのがあります。ですから、それはわかりにくくても変わっていたので、ちゃんと変わったっていうことを認識して、
1:02:34	弊社の中でちゃんと認識していなければ駄目だとは思いますが、でも、それができてなかった理由というのが、ですから
1:02:43	いただいているいただく、事業者さん経由でいただく情報っていうのはちゃんとそういう改訂管理とか、表紙とのリビジョンリビジョンするとかっていうな形でではなくてもですね、
1:02:54	弊社の中で、そのいただいた情報を、最初もらった部分を例えばリビジョン0っていう形で、一旦登録して、次、もらったときは次、ピジョンはんで、
1:03:05	登録してそのときには、その中で、どこが変わったかっていうのをきちっと確認をして、と書いて管理の中に落とし込むと。うん。次リビジョンするのは非常に受けたらその社内の管理の中で、その改訂箇所をしっかりと確認して、
1:03:20	改訂箇所を明確にして、情報管理をすると。
1:03:25	いうことをしていればですね、
1:03:27	わかりにくくて見落とししたというようなことは、担当者がわかりにくくて見ようとしたということは、きっと起らなかった。
1:03:35	はずだと、いうことですね。
1:03:38	なので、そのドキュメントを、
1:03:42	ある。
1:03:43	データでいただいたままいただいたままの状態です社内保管してはるんですけども、
1:03:50	その改定箇所をしっかりと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:54	確認する作業が、ちょっと当時、
1:04:00	十分ではなかったと。
1:04:03	なので、今回ですねそういう図書もちゃんとそういう、書いて管理をするように、ドキュメント管理をしてですね。はい。社内図書として登録をちゃんとすれば、
1:04:14	はい。そうすると、おのずともう必ず必然的に変わったところをちゃんと変えてか、変えて利益を残しながら、
1:04:21	ドキュメントのリビジョンアップかバージョンコントロールしてされていきますので、
1:04:25	そういう見落としっていうのは
1:04:28	起こらないお母さん買ったはずだということですね。
1:04:32	わかりました。
1:04:34	別にここ変更履歴とかないところです。タシロって大変だよなんて今ちょっと思っちゃいましたけど、
1:04:44	なのでそんな説明いや責めちゃうけど、
1:04:49	何か普通 2 イワサ考えれば、
1:04:54	自分たちで設計なりをする設計をしてる際には、ソウノ資料を聞いて、Dの当初使うかっていうのを、
1:05:04	事前にリストアップして、それが最新かどうかを一度チェックしたうちに使い始めるっていうのは何かと思いますけど。
1:05:12	事業者から提供されるもの以外に、自分たちが学会の規格であるとか、いろんなものを使ったときに、それが最初に含めて、一度チェックはしない。
1:05:23	多分、車のだけが最新かどうか、ラベルを貼っていただけだと。
1:05:28	こんなものについても多分あると思うんですね。
1:05:31	自分たちで使うようなもの。
1:05:33	でもそういうので古いのを使ってる可能性もあるじゃないですか。
1:05:37	それはどうやってチェックするんですか。普通は、扱うものをまずリスト化してそれが最新かどうかを確認してから使えば確実だと思う。
1:05:46	そこはですね
1:05:49	設計つまQMS上の用事と設計のインプットって言いますが、設計仕様書という形で、図書を作成します、設計するときですね。
1:06:01	で、先ほど申しましたように他社からいただいた、
1:06:05	情報につきましては設計しながらその日ちょっと平行作業なところがありましたので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:11	その
1:06:14	社内的な、
1:06:15	当初として設計書ってのは、もちろん作ってるんですけども、それとは別に、並行して他社からいただく情報っていうのを、
1:06:25	というのがそのセキしながら、
1:06:28	途中で条件が、当時変わってたんですね。
1:06:32	なので、今、安田さんおっしゃるように、
1:06:36	それ以外の他社からもらっていない、それ以外の設計条件というのはちゃんと、
1:06:42	当初で図書として作ってますんで、それにプラス、今回の事象としましては、ちょっと平行して、設計が進んでるということもありまして、
1:06:53	外部からいただき受領した設計情報について、そのドキュメント管理がちょっとそこは十分でなかったと。
1:07:01	いうことにしました。
1:07:03	であればちょっと最後に、カー内のところ、黒丸つたってなお書きで、3-1の、
1:07:10	外部から提供されたもの以外のもの。
1:07:13	聞いているやつが今言われた。
1:07:15	注文いただき、
1:07:19	わかりました。
1:07:21	はい。
1:07:24	はい。規制庁、松野です。
1:07:28	では、
1:07:30	こういうふうな関係はこれで20って、
1:07:35	阿藤郡。
1:07:37	岩見米買い取るじゃ遮へいの話と、
1:07:44	遮へいのところはちょっとまだ担当者が、
1:07:47	見えてませんので、はい。
1:07:49	大変以外のところで何かコメント回答があれば、目を
1:07:55	資料1-1の20ページになります。
1:08:07	20ページの上の、
1:08:11	審査会合コメントっていう
1:08:13	これは審査会合のコメントではなくてヒアリングのコメントだということ
	で、変更するのちょっと忘れております。申し訳ないですけど、ここ、
1:08:23	訂正させていただきます

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:24	と。
1:08:26	臨界のその 15、10、1077 と 1055 燃料混載した時のパラメーター下げる系 4 体配列の
1:08:37	条件で、
1:08:39	計算をしまして、その中で、そのパラメーターSERP追加したパラメーターサーベイ計算の中ではバスケットの中に、4 体が真ん中に 9 というような、中心変更は 1 としていますと。
1:08:54	いう条件で今、パラメーターサーベイで計算しているんですけども、実際のその 26 回配列の時っていうのは、1077 燃料については、中心変更配置ではなくて、バスケットの格子の中に主バスケットの格子の中を、
1:09:09	に配置した状態で、
1:09:14	実効増倍、飯塚アノ最大の条件になっていると、その違いがある。
1:09:21	あるんだけど、それについて、それは
1:09:24	その違いがある、ある、そういう違いがあるんだけども今回の 4、4 体配列のパラメーターサーベイで、中心変更になっているのはどういう、
1:09:34	スタートなんかをそこわかるように補足していただけませんかという趣旨の、
1:09:38	コメントでございました。で、その件につきましアノを中の赤で書いているところですけども、1077 燃料が 26 台収納された場合の、冠水条件ではバスケットの
1:09:50	アノをコウしないで、中心変更と、講師中央の違いはですね、実効増倍率の差としましては、1.00031 と。
1:10:02	1.0 っていう、そういう非常に
1:10:06	小さな差なんですね。で、このさっきの標準偏差、SIGMAは、0.00043 ですのでそのシンボの範囲内ぐらいの
1:10:17	ごくわずかが最いいでして、たまたまですね 26 台入れその場合は、中心変更ではなくて、バスケットの中央に配置した場合の、
1:10:28	実効増倍率が高くなっちゃったんですけども、実はその飛鳥っていうのはあんまりその有意な何かこう、特別何かそう高くなる理由があるような差ではなくて、
1:10:40	たまたま変動誤差評価誤差のばらつきの範囲内ぐらいでの差であってですね、特に
1:10:48	有意な、特別何か理由があつての差ではないと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:52	いうふうに考えています。ですので、今回 4 対客 4 体配列のパラメーターされるときは、についてはですね、中心、
1:11:03	変更で、の配置で、統一した評価条件にしたと。
1:11:09	ということです。これ逆にですね、4 体配列の時に、例えば 1077 燃料はバスケット中心に置いて、1055 燃料についてはその真ん中にあるような、アノっていうふうに分けますと、
1:11:23	この 4 体配列の場合ですと、逆にその燃料配置のサーの影響というのが、逆に出てきてですね、燃料を違う、17 年度と 1515 年度の間のその相互関係というのが、
1:11:36	逆に正しく評価できないってということになりますので、そこはパラメーターサーベイの計算では中心変更という形で、
1:11:46	統一をさせていただいたということでございます。
1:11:50	以上です。
1:12:05	調べてくれなあとと思って、ユキちゃったんですけど、本当は中止変更。
1:12:12	であろうというところが、
1:12:18	あれ、中央を担う。
1:12:22	はい。
1:12:23	だったら、あれ、すいませんこれですけども、だからこの回答にかかる人が、要は目的を明確にした上で、
1:12:31	ということになってればそれでいいんじゃないかなと思う。何々を、要は、
1:12:37	何見るんだっつって
1:12:40	効果効果のね影響で、そのパラメーターサーベイするところでやってるわけじゃ、結局じゃなくて今回のやつっていうのは、
1:12:48	異なる、異なるタイプがいるときの影響だから、それに対して、それがそこにそのポジションにいることによる影響を、がこの程度ですよっていうお話を、
1:12:59	してくださいということだったんだから、要はこれを見るために、要は、この条件については、センターにおきましたっていうことで、
1:13:09	こういうことを見るために、こうしたっていうことがちゃんと、今書かれてるんだっいたらいいですよそれ。
1:13:19	それぞれ、サーベイの目的がね、いろいろあると思いますので、
1:13:24	ただ、あえていよ、自分たちがこの解析が、
1:13:28	値がいいように、な条件として、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:32	見てないよねっていうのが確認できればいい。一つは、それは、今のね。うん。要は、
1:13:39	シバにしてるわけですよ。はい。
1:13:43	秋野シモジョウさん今布田さんがおっしゃるようにですね今回のパラメーターサーベ計算が、の目的は何で
1:13:54	5 燃料の更新の中の燃料の配置のパラメーターサーベをしているわけではなくて、燃料缶のその相互反応の反応度の違いがあるのかなのかと。
1:14:06	いうのを評価するのが目的だということは、
1:14:11	資料の 1-3。
1:14:13	の委員会の補足説明資料の、
1:14:17	別紙の、
1:14:19	後ろの方から別紙 5-1。
1:14:22	ページ。
1:14:24	がありまして、その、
1:14:28	別紙 5-1 ページの評価条件のところですね、
1:14:37	なんか、ちょうど真ん中のページの真ん中の辺り、
1:14:41	の
1:14:42	ですけども、本パラメータ計算では、両燃料間 17 と十分以上の相互作用の影響のみを評価するため、本評価体系では反応度が高くなる中心変更配置に統一したと。
1:14:56	いうふうに、
1:14:58	反応度が高くなるっていうそこいらじゃない。しかし、あんまり半田労働ヤマジそそういうね
1:15:07	言いたいことを言いたいんだろうけどもそういうことを書いてあると、何見てるかわかんなくなってくるから、
1:15:13	うん。ということじゃないんですかね。うん。
1:15:16	逆にそれを見るよっていうようなことではなくて今何かあったら、
1:15:20	うち、さっき言ったように違う部分を入れたら、違うものがここにあったときに何か悪さするんじゃないのっていうことだったら、それを顕在化させるために配車センターにしたとかね。
1:15:30	ということじゃない。井戸としてはそういう意図があるでしょう。結局、こんな反応度が高くなるって書いてあんのはその 4 体配列の中の体系の反応度という意味。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:41	うん。そのまんまいいですけど、誤解が誤解を生まないようにしてくださいという形です。
1:15:51	さっきの基本法。
1:15:55	1055 が自治体に入っちゃうと、発熱量の制限きっかけ株です。
1:16:02	15 中コウノね。
1:16:05	はい。すいません。
1:16:09	内野。
1:16:12	制限します。はい。あるじゃないですか。はい。
1:16:15	発生常時低減ですね。だから、15 体燃料が一体でも入る場合は、そういう発熱量制限をする必要があるということになります。
1:16:27	はい。
1:16:37	規制庁、松野です。
1:16:40	それ以外は、以上ですか。
1:16:43	行くべきですか、規制庁テラノです。衛藤。
1:16:46	先ほどの除熱の件について事実確認だけ、1 ページ、1 資料 1 の別紙 6-4、改めての読み方なんですけど、
1:16:56	中央対領域の参議院モデルを上から二つ目のポチのんと、
1:17:03	熱伝導率とこれと全体モデルの上から二つ目のポツの熱伝導率は同じものです。同じ値ですか。
1:17:14	これ。
1:17:15	他のところはおそらく一緒のものを使っている。
1:17:19	南スミエ読めるんですけど、ここ。
1:17:22	もっとちっちゃいよ。
1:17:24	表現し、記載は一緒だけど、実際使っている。
1:17:28	熱伝導率は違うの。
1:17:33	均一化している。
1:17:34	谷が 3 次元で 2 次元で違うのかなと思ったんですけど、ベッショ一緒です。
1:17:39	すいません、6-1 表ですねオクノ 1 表の 3 次元モデルの上から二つ目のところの、熱伝導率と全体モデルの上から二つ目のポチの、
1:17:50	熱伝導率は、
1:17:53	同じ値ツジ同じ。
1:17:54	値になりますが、モデル化するものが異なります。
1:18:00	燃料集合体領域の二つ目の、そうですね。そうですね。はい。はい。
1:18:10	2 次元モデルはかなり、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:14	ところ、ここはですねここに書いてる記載が、
1:18:18	は同じことが書かれていますが、その3次元モデルと、寺尾さんおっしゃった通りだと思うんですけど、3次元モデルの金への体積割合を考慮してね、均一化してるんですけども、
1:18:33	均一化してる領域が違います3次元の場合は、バスケットの投資講習の中の燃料集合体のところを、品質が下の等価熱伝導率を設定していて、
1:18:45	全体モデルの方にはバスケットの中をバスケットも全部含めたニイツアビル全体を均一化して、等価で製造率を設定していると、そういうことです。ただそうすると、問い合わせをすると他の
1:18:57	熱伝導率を設定って書いてるところは3次元二次元は同じ熱伝導率を、
1:19:03	他のところは同じ熱伝導率としてモデル化する範囲が一緒ですよ。
1:19:08	例えば、三次ニイツ林道三つ集合領域の三品モデルの三つ目のポツの径方向熱伝導率は、輪切りモデルの一番、二つ目ですかね。
1:19:19	集合店モデルから求められる云々と同じ。
1:19:24	ものになっている。
1:19:30	まずです。
1:19:32	そうですね30%と同じですね。はい。バスケット格子材はさっき議論があった通り、3次元の熱伝導を3次元の軸方向熱伝導率は前提モデルの時刻別の率を1種、
1:19:45	はい。ですねと。はい。で、伝熱フィン及び側部中性子剤は、あと実形状モデルそのものは3次元では、材料として野原ミツイウツミてきて、はい。
1:19:56	二次元モデルの方は、はい。全体モデルでは、均一化しているので、そこは計算で出すそうですね。
1:20:04	わかりました。はい、ございます。
1:20:06	以上です。
1:20:09	はい。
1:20:14	多分遮へいの丹
1:20:16	ともなく来ると思うんです。
1:20:23	国交コウ性という、5分ぐらい。
1:20:27	うん。
1:20:29	十分3時ぐらい。
1:20:40	以前の話。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:43	一番最後でしょうか。麻生。はい、わかりました。35分まで。そうですね一旦じゃこれ中断します。すいません。
1:20:57	出てますんでヒアリングですね。
1:21:02	に関するはい。
1:21:03	はい。
1:21:07	資料1-1の19ページgになります。
1:21:13	で、
1:21:14	前回ですね、
1:21:19	測定N数っていうのが、
1:21:22	一般的なようではないんじゃないでしょうかというような趣旨のコメントをください。
1:21:27	ましたので、その19ページの中で赤で朱書きで書いて、シバの測定回数に関して、
1:21:35	イナー用語で、
1:21:38	確認をしたということでございます。
1:21:43	以上ですけど。
1:21:46	規制庁。
1:21:48	表現としては測定回数というのが、
1:21:51	わかりやすい。
1:21:53	それはそれでいいんですけど、この2回っていうのは、
1:21:58	この中に、
1:22:00	何の意味を示すっていう。
1:22:04	そういった文献作文県一井の中で、実測値として、
1:22:11	二つに改組、測定値が2、二つ記載されているので測定回数2回と。
1:22:17	いうふうに
1:22:19	書きました。
1:22:22	事実として2、2回測ってデータがあるっていうことだと思うんですけども、
1:22:29	データ点二つっていうのは
1:22:33	多分ばらつきという言葉もありますけど、
1:22:36	データ点二つでばらつきって示せるのかっていうのはそもそも統計学の話として出てくるので、あえてこの2回っていうの、
1:22:46	前面に押し出して、
1:22:48	下、
1:22:49	書いて何を主張したいのかっていうのがわからなかったんですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:54	1 階より 2 階の方が、儘田。
1:22:57	いいだろうという程度なんか、二階図ればもうこれは、
1:23:02	何の疑いもないっていうのが主張したいというのか、その辺りがちょっと意図がよくわからない。
1:23:08	PNCのルースアノシモジョウです。特にその 2 回やったらとかってそういう、そういう統計誤差みたいな、そういう処理を主するニワに海田って、全然。
1:23:20	数が少なすぎると思うんですけど、その
1:23:23	下、参考文献 1 のペーパーの中で、その実測値が、2 回分の二つの実測値が示されていたのでそれを、その事実を淡々と、
1:23:38	そこで返す 2 回というふうに、
1:23:41	変えたということです。
1:23:43	ばらつきっていうのは測定回収、1 回目と 2 回目でももちろん同じ場合もありますけどちょっと微妙にももちろん測定の誤差みたいなものもあるでしょうから、若干違うっていう場合もあるんですけど、
1:23:59	若干の違いを、についてばらつきという。
1:24:04	表現をさせて、
1:24:06	いただきました。
1:24:09	以上です。
1:24:13	バラつきという言葉が使われると、
1:24:16	その話をしてるんじゃないかという。
1:24:18	まず、イメージが先に来る駄目。要はこの
1:24:22	A棟、
1:24:24	各測定点に対して、
1:24:26	2 回測定したデータがあって、
1:24:29	それらすべてを見ても、堆積土が実測情報が回ってましたよっていうことがいただいたんではい。
1:24:36	はい。そういうことであれば、
1:24:39	それ相当程度に書かれた方が、
1:24:42	わかりました。はい。まだ誤解がないんじゃないかなと。ちょっとばらつきっていう表現はちょっとアノして、
1:24:51	はい。何かあの感じな表現上の問題だと思います。
1:24:55	他に見直します。はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:58	測定回数 2 回っていかかっているんじゃない。実測値との比較においてって普通に書いてはいけないんですか、したところ、ばらつきを含むってところも、括弧書きを全部外してしまえば、
1:25:11	意味違っちゃいますね。
1:25:14	要はたくさんはかってそれがすべて上回ってるっていう。田井です。
1:25:18	測定点もたくさんあって、1ヶ所の測定点でも、2回とか、
1:25:23	複数回測っていて、それらがすべて上回ってますよ。
1:25:27	はい。K-シモジョウです
1:25:31	もう本当に、
1:25:34	この文献の中で、
1:25:37	書いていることをそのまま素直に、それ以上でもなく以下ではなく、
1:25:43	やればそのまま意味合いが異なる意味合いを類推してしまうので、削除してください。はい、わかりました。返せ 2 回のっていうと、カンバラというところも、
1:25:54	ちょっと、
1:25:55	これはもう意味は同じです。
1:25:58	ここの経過に沿ってることがわかります。はい。ここの測定回数 2 回とばらつきとかその辺りの表現は、
1:26:05	はい。
1:26:08	とる方向。
1:26:11	修正させていただきます。
1:26:18	規制庁、松野です。
1:26:21	では、こちらからの数に
1:26:25	以上となります。全体として何かあれば、
1:26:31	お願いしたい。
1:26:34	特に、特にございません。はい。
1:26:38	では本日のヒアリング、これで終了します。ありがとうございました。ありがとうございました。
1:26:43	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。